

発寒ひかり
保育園だより

2022年
4月号

巻頭言

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催出来るかと心配していた卒園式も、参加者を絞り、短い時間ではありましたが、無事に行うことが出来ました。大人たちの心配をよそに、子どもたちは晴れの舞台に目をキラキラとさせて、何だかとっても自信たつぷりの様子。一人ひとりがとつても素敵でした。

卒園式のあと、ある保護者の方から、職員宛にお手紙をいただきました。「(略)子供たちが小さい時は大変なことでも心配なことでもたくさんありました。そのたびに先生がたに話をきいてもらったりして、心が軽くなりました。(略)家庭ではできないいろいろな経験や遊びをさせてもらい、またファミリーでのきずなを通して、3人の子供たちは優しい子に育ったなあと思っっています。先生たちの愛情をたくさんたくさん注いでもらったからだなあと思います。(略)」こちらこそ、感謝の気持ちでいっぱいです。

思い返せば、このコロナ禍となり、2年以上も色々我慢をする事や変更せざるを得ない事も多い中で過ごしてきた子どもたち。そんな中でも、どんな事が出来るのかと模索をしながら、日々の保育を工夫して、少しでも子どもたちと楽しめるようにと、感染対策と保育の保障の中で、四苦八苦してきた日々でもありました。

これからも暫くこの日々は続くことでしょう。でも、諦めることなく、その工夫を続けていきたいと思えます。子どもたちの笑顔のために。

園長 阿部 尚子